

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 学校法人カンティーニョ学園

1 事業の趣旨・目的

これまでの定住外国人(日系人)の動向をふまえると、景気回復後は多くのリピーターの再入国が見込まれ、また帰国の意思がない実質的定住者の数は、景気悪化以前とさほど変わっていないと感じる。そして、日本での雇用状況においては、多くの企業が外国人ワーカーを雇用する際の採用基準として、日本語能力を重視する傾向が景気悪化以前よりも強くなったことから、これから定住外国人に、より多くの職業選択の機会を与え、それによって地域社会の良きパートナーとして穏やかな暮らしができるよう、生活言語としての日本語指導を目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
平成 22 年 7 月 30 日	カンティーニョ 学園	亀井宏光 中野葉子 平田具大 中島史人	受講生の応募状 況について	開校にあたり応募者を募ったところ、反響は非常によく、マルアイグループの従業員、カンティーニョ学園の職員及び生徒(高校生)などで、ほとんど席が埋まってしまった。事前申し込みをせずに開校日当日に飛び入りで来る人もいたため、初日は満員で教室のキャパシティ上これ以上増やすことはできなくなった。日本語レベルとしては、2~3人は会話に不自由はしないが文字が全く読めず、その他の人は会話・文字ともにほとんどわからないという人が大半であった。ひらがな・カタカナができないと学習も早い段階で挫折してしまいがちなので、脱落者を出さないような工夫が求められる。
平成 22 年 8 月 23 日	カンティーニョ 学園	亀井宏光 中野葉子 平田具大 中島史人	日本語教室の運 営について	退室者1名。理由としては土曜日がすべて授業に費やされてしまうことが理由。夏休み明けで、初日に比べると人数が減っているため、今後の受講生の動向に注意しなければならない。しかし、比較的真面目に取り組む受講生が多いため、ひらがな・カタカナも大分できるようになってきた。中島先生の楽しい授業展開で、授業中は笑いが絶えず、みんな楽しそうに授業を受けている様子。いまだに受講希望者からの問い合わせがあるため、受講生の出席率をみながら補充

				も視野に入れている。
平成 22 年 10 月 8 日	カンティーニョ 学園	亀井宏光 中野葉子 中島史人	日本語教室の運 営について	残すところあと 2 回の授業となったが、参加する生徒はすでに固定されてきている。いつの間にか来なくなってしまう受講生もいる傍ら、参加希望の問い合わせもあり、9 月の中旬よりタイ国籍の女性 2 名が参加。ある程度の日本語レベルはあったため、途中からの参加でも問題なく授業についてきている。東南アジア国籍の外国人からの問い合わせが最近多く寄せられている。東南アジア国籍の外国人は、実習生がほとんどで彼らは日本語検定を受けるために独学で勉強している人が多いため、もしまた日本語教室をする機会があれば、検定向けに受講生を募集するということも可能。また、土曜日が日本語教室でつぶれてしまうので脱落したという人も少なくないため、一日に集約するのではなく、月～金の深夜(21:00 頃)クラスの設置も、退室者を少なくする可能性がある。
平成 23 年 1 月 18 日	カンティーニョ 学園	亀井宏光 中野葉子 中島史人	受講生の募集状 況と教室運営に ついて	10 月 16 日に修了した日本語教室だが、1 月 15 日より再度開催することが決まった。期間は 3 月 19 日までの全 10 回。 受講者は主に東南アジアからの実習生で、ここ最近の傾向としては日系南米人よりも日本語教室への参加率が高い。 とくに彼ら実習生は日本語能力試験の受験を義務付けられている場合があるため、日本語学習には非常に前向きで、途中で来なくなってしまうということがないため、授業計画を立てやすい。 時期があえば、彼らの日本語能力試験対策の授業を実施することも検討したい。

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 『とよはし みんなの日本語教室』
- ② 開催場所 学校法人カンティーニョ学園 愛知県豊橋市東岩田3-1-3
- ③ 学習目標 基本的な日本語の文法を身につけ、日常生活や職場で活用できるようになる。

使用した教材・リソース 『みんなの日本語 I・II』・『絵で学ぶ擬音語・擬態語カード』

『子どものにほんご1 絵カード』・自作プリント、他

④ 受講者の募集方法

外国人従業員を多く雇用する企業へ協力を依頼し、チラシの配布、ポスターの掲示を依頼。

⑤ 受講者の総数 32 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 ブラジル・22人, タイ・5人, フィリピン・5人)

⑥ 開催時間数(回数) 120 時間 (全22回)

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	7月24日 9:00~15:00	5時間	20人	ブラジル・ポ語(19人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	ひらがな・日にちの言い方等
2	7月30日 9:00~15:00	5時間	20人	ブラジル・ポ語(人) フィリピン・英(人)	教授者1人 補助者0人	ひらがな・曜日・物の数え方など
3	8月7日 9:00~15:00	5時間	12人	ブラジル・ポ語(11人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	カタカナ・形容詞・時間の言い方など
4	8月21日 9:00~15:00	5時間	7人	ブラジル・ポ語(6人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	カタカナ・こそあど・疑問詞など
5	8月28日 9:00~15:00	5時間	13人	ブラジル・ポ語(12人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	カタカナ・形容詞(応用編)
6	9月4日 9:00~15:00	5時間	9人	ブラジル・ポ語(9人)	教授者1人 補助者0人	動詞(概説)・(ます形の表現)
7	9月11日 9:00~15:00	5時間	10人	ブラジル・ポ語(9人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	動詞(ます形の表現) (辞書形の表現)
8	9月18日 9:00~15:00	5時間	8人	ブラジル・ポ語(5人) タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	動詞(辞書形の表現) (テ形の表現)

9	9月25日 9:00~15:00	5時間	8人	ブラジル・ポ語(5人) タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	動詞(テ形の表現)
10	10月2日 9:00~15:00	5時間	7人	ブラジル・ポ語(4人) タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	動詞(ない形の表現)
11	10月9日 9:00~15:00	5時間	10人	ブラジル・ポ語(7人) タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	動詞(タ形の表現)
12	10月16日 9:00~15:00	5時間	7人	ブラジル・ポ語(4人) タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	名詞節を使った表現・ 読解 まとめテスト
13	1月15日 8:00~15:00	6時間	3人	タイ・タイ語(3人) フィリピン・英(0人)	教授者1人 補助者0人	漢字(一年生—1) 基本の文型おさらい
14	1月22日 8:00~15:00	6時間	6人	タイ・タイ語(3人) フィリピン・英(3人)	教授者1人 補助者0人	漢字(一年生—2) いろいろな助詞 擬音語・擬態語
15	1月29日 8:00~15:00	6時間	3人	タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(1人)	教授者1人 補助者0人	漢字(一年生—3) 動詞(ます形・テ形)
16	2月5日 8:00~15:00	6時間	7人	タイ・タイ語(3人) フィリピン・英(4人)	教授者1人 補助者0人	漢字(二年生—1) 動詞(タ形・ナイ形)
17	2月12日 8:00~15:00	6時間	4人	タイ・タイ語(0人) フィリピン・英(4人)	教授者1人 補助者0人	漢字(二年生—2) 動詞(辞書形・可能形)
18	2月19日 8:00~15:00	6時間	6人	タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(4人)	教授者1人 補助者0人	漢字(二年生—3) 形容詞の変化形
19	2月26日 8:00~15:00	6時間	7人	タイ・タイ語(3人) フィリピン・英(4人)	教授者1人 補助者0人	漢字(二年生—4) 副詞・助詞
20	3月5日 8:00~15:00	6時間	2人	タイ・タイ語(2人) フィリピン・英(0人)	教授者1人 補助者0人	漢字(二年生—5) 依頼表現

21	3月12日 8:00~15:00	6時間	7人	タイ・タイ語(3人) フィリピン・英(4人)	教授者1人 補助者0人	漢字(二年生—6) 疑問表現
22	3月19日 8:00~15:00	6時間	6人	タイ・タイ語(3人) フィリピン・英(3人)	教授者1人 補助者0人	漢字(総まとめ) 日常会話シミュレーション

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

(特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。また、教室風景の写真を数枚添付。)

(第一回:7月24日)

■「ひらがな」の学習 絵カードを使用して、ひらがなを学習しました。

書き方を示したプリントと、なぞり書きができる練習用プリントを配布して練習させました。

習った文字を使った言葉を、個別に指示して黒板に書かせるなどしました。

書き方の指導は、基本的に個別におこない、修正点があればその場で直しました。

「あ行」「か行」が終わったら、その文字を使った言葉で確認テストを行うなどしました。

■日にちの言い方の学習 一覧表のプリントを配布して、一緒に発声練習しました。

ボールを使い、順番にパスをしながら言っていく練習をしました。慣れてきたようですので、

目標タイムを設定したり、チーム分けして競ったりして楽しみながら練習できるようにしました。同じ要領で、月や曜日の言い方も練習しました。

(第八回:9月18日)

■動詞の辞書形の表現 例)趣味は、料理をつくることです。日本語を話すことができます。

(1)辞書形の確認 絵カードを使用して、辞書形を言いながら覚える練習をしました。

(2)辞書形を使った表現を導入しました。 そのあと、教師の質問に答える練習をしました。

T「〇〇さん、趣味はなんですか？」S「運動です」 T「運動します」S「運動することです」

(3)練習用のプリントを使って、文を作る練習をしたあと、実際にクラスメイトに質問する・答える練習をしました。

(4)確認のために小テストを行いました。 一緒に答えを確認し、解説を行いました。

■過去の復習 飽きないように、以前覚えたことを確認するゲーム(ビンゴなど)を行ったりしました。

■日本語能力試験対策 レベルの高い受講生のために、授業前に日本語能力試験対策を行いました。

(第十三回:1月15日)

■ 初回の授業では、まずプレースメントテストを行い、受講生の既習レベルを確認しました。

文法項目ですが、母国で基本的な教育は受けてきているので、復習を兼ねて基本的な文型について指導しました。 項目ごとに小テストを行い、理解度を確認しながら進めました。

重要な項目については、絵カードや口頭でキーワードを与え応用させる練習で定着をはかり、日常でも使用できるように配慮しました。

この講座では、基本的な漢字(教育漢字、一年生・二年生)を勉強するため、まず、漢字の書き順やポイントを説明しました。個別指導でまちがいを直しながら指導しました。また、書き取りの宿題を毎回出し、次回の授業でチェックするようにしました。

- クラス内では、基本的に母語の使用を禁止し、会話・質問などは日本語のみとしました。その際の間違いは、その都度訂正して言い直させました。

授業と関係のないことでも、積極的に話をして、習ったことを使えるように努めました。

(第十八回:2月19日)

- 形容詞について勉強しました。

まず、絵カードを使用して語彙の確認を行いました。その後、イ形容詞とナ形容詞の違いについて説明しました。それぞれに活用の仕方が違いますので、絵カードやジェスチャーで形容詞を提示し、過去形や否定形、否定形の過去などに変換する練習をしました。

動物や食べ物の特徴を書かせる穴埋めプリント(講師自作)を使用して、形容詞の語彙とその変化形の定着を確認しました。

文型の指導に関しては、講師のテキストから適当な物を選んで提示し理解を図りました。

- 前回の漢字書き取りの宿題を確認しました。その後、その漢字のテストを行いました。間違えた漢字は、さらに書き取りの宿題としました。

既習の漢字を使った言葉を指導して、語彙を増やすようにしました。(例:草→草花・草とり・ざっ草 etc)

【平成22年7月24日～平成22年10月16日】



【平成23年1月15日～平成23年3月19日】



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日) 数	参加回数	当該教室での役割

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語 教育に関する資格	参加回数	当該教室での 役割
中島 史人		日本語教育能力検定 試験合格	22回	日本語講師

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

生活言語としての日本語を指導するという目標をかかげ授業を実施し、ひらがな・カタカナはもちろん、基本的な文法、生活するうえで役に立つ言い回しなど、実用的な日本語を指導した。

② 学習者の習得状況

学習者の出席率も比較的良好で、当初はひらがな・カタカナがまったくできなかったものが、教室修了時には読み書きできるようになり、基本的な文法を身につけ、職場や実生活で役立ててもらえるようになった。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

土曜日に実施したことと、16歳以上であれば誰でも参加できる日本語教室だったため、希望者がとても多く、教室のキャパシティの問題でキャンセル待ちが出るほどだった。出席率も非常に効果的だったと思う。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果等

外国人を多く雇用する企業グループに、生徒募集の依頼をしたが、参加希望者がとても多く、次回もまた実施してほしいとのこと。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

現在、就業している外国人でも日本語学習を希望している者は多く、仕事をしながらでも学べる環境を望んでいる。また、地域がら、南米国籍の外国人が多いと思われがちだが、東南アジア(中国・フィリピン・ベトナム・タイ)国籍で、日本語学習を希望している者も最近が増えている。

b. 今後の課題

豊橋では、厚労省が実施している日系外国人のための就労準備研修などもあるが、基本的に失業者と、南米国籍の外国人だけが対象になっているため、仕事をしてる人や、国籍を問われずに参加できる日本語クラスがあれば需要はあると思う。

c. 今後の活動予定, 展望

この日本語教室は土曜日に実施していたため希望者も多く、出席率も比較的良かったため、今後もしできるのであれば続けていきたい。今後は土曜日はもちろん、就労している外国人の残業に対応するため、深夜クラス(21:00～24:00)の実施も視野に入れている。